

➡ 前項から続く

現在の次期繰越金は100万円を越えていますが、その中の70万円を2年後に予定している台湾訪問演奏の渡航費用の補助金にして国際交流をもっと活発にしたいと考えています。

第4号議案 新年度の事業計画及び活動計画

《第3回楽器別交歓会》

3ページの要項をご参考下さい。

《台湾への訪問演奏旅行の延期》

本件は私が“ひびきあい”的新年号で来年3月に実施したいと申し上げましたが、

①地元のアマチュアオーケストラが確定せず、事前の交渉期間が足りない。

②新型コロナウィルスのため国際間の交流ムードが蔓延防止ムードになっており、当分、歓迎されない。

以上の理由で止むを得ず延期する次第です。

《楽譜ガイド2020年度版発行》

この項目は議案書には記載されていないが、去る2月17日に編曲者の松本洋二先生が急逝され、先生の遺志により先生の全作品をデータで当連盟に提供して頂くことになりました。今年度の楽譜ガイドは来年3月に作成する予定でしたが、急遽10月に発行することにしました。なお、この作品については「笹森楽譜」と同様に「松本楽譜」として活用させて頂くことにしました。ご遺族には大変喜んで頂いています。

《理事長活動の縮小》

岡村理事長は既に7年間、理事職を続けており、後継も成長しており自身の足腰も衰え聴力も極端に劣化したので、昨年12月の理事会で次期理事長を辞任するよう強く申し入れましたが、各理事から「具体的な活動はしなくてもよいから指示だけ出してほしい」との要望があり、また各副理事長、会計担当も共に辞任したいと申し出があり、止む無く理事長を続行し副理事長にも継続して頂くことになった次第です。従って各活動目標ごとに担当理事を設定し議案書に掲載した次第です。

第6号議案 令和2年度役員選出について

昨年度と変更した点は宇都宮SEの鈴木基司代表が辞退され、アゼリア合奏団inシニア代表の森田忠芳氏が就任されています。なお、役員の役職については新年度の第1回理事会で正式に互選されます。

「松本楽譜」の新設について

上記でお知らせした通り、当連盟の多数の楽団に編集作品を提供して下さった松本先生がご逝去されました。先生のご遺志、ご厚意によりその作品を、当連盟で未永く活用させて頂くことになりました。去る2月22日の葬儀には推定150名の参列者による音楽葬が催され、当連盟より理事長と松永副理事長が参列し生花を奉納しました。

以下、松本洋二先生95年の生涯について、生駒芳正さん（編曲者）のお話をまとめて報告します。

>>>

松本洋二先生の生涯はまさに音楽三昧の幸せな人生でした。音楽一家にお生まれになり、音楽的な才能は抜群、弟さんは世界的なテナーサックス奏者だった松本英彦さん。広島文理大の特設音楽科を出られ、戦争中は陸軍将校、戦後はフリーミュージシャンとして放送局の編曲の仕事をされた後、ヤマハの音楽教室の開設に参加され、指導メカ、テキスト、グレードシステムの軌道のせに努力され、ヤマハ音楽振興会の設立後は、合歓ポピュラーソングコンテストの軌道のせに尽力され、中村八大さんにも応援して頂いたのは先生の人脈でした。その後は、メキシコなど中南米諸国や東南アジア、ヨーロッパの諸国に学童への立笛リコーダーの普及にとび廻られました。ヤマハ退職後は東日本ヤマハOBアンサンブルを設立され、昨年末まで約20年に亘って編曲、指導、指揮に当たられました。手がけた編曲数約600曲。生駒芳正氏や故笹森敏明氏の大先輩、物静か、謙虚、ダンディーですばらしい音楽家でした。 合掌